

(3) 基本方針3 社会全体で健康を支え守るための社会環境の整備

【市民の主体的な健康づくりを支える地域づくり】

1 目標項目に関連した施策

- 地域活動の活発化のための取組
- 自主グループや地域団体との連携による健康ウォーキングの推進
- 自主グループの活動支援
- 公民館学習会
- すこやか食生活推進リーダーや食生活改善推進員の育成と活動支援
- 健康ウォーキング推進者の育成と活動支援

2 目標項目ごとの進捗状況

No.	目標項目（指標）	ベースライン値 （策定時）	中間目標値	中間実績値 （直近値）	最終目標値	評価
1	地域のつながりの強化 （自分と地域の人たちとの つながりが強い方だと思 う者の割合）	20 歳以上 24.3% （平成 24 年度）	40.7% （平成 28 年度）	20 歳以上 21.2% （平成 28 年度）	20 歳以上 65% （平成 34 年度）	D
2	健康・スポーツの地域活動に 参加する者の割合の増加 （60 歳以上で健康・スポーツ の地域活動に参加する者 の割合）	13.1% （平成 23 年度）	18.5% （平成 29 年度）	15.6% （平成 29 年度）	23% （平成 34 年度）	C
3	すこやか食生活推進リーダー の活動実績の増加 （すこやか食生活推進リー ダーの活動実績数）	225 回 （平成 23 年度）	328 回 （平成 28 年度）	172 回 （平成 28 年度）	450 回 （平成 34 年度）	D
4	健康ウォーキング推進者の 活動実績の増加 （健康ウォーキング推進者 の活動実績数）	183 回 （平成 23 年度）	268 回 （平成 28 年度）	253 回 （平成 28 年度）	370 回 （平成 34 年度）	C

3 目標達成状況

区 分	項目数
A 目標値に達した	
B 目標値に達していないが改善傾向にある	
C 変わらない	2
D 悪化している	2
E 評価困難	
合 計	4

4 評価

- 60 歳以上で健康、スポーツの地域活動に参加する者の割合は増加しているが中間目標値に達していない。
- 自分と地域の人たちとのつながりが強いほうだと思ふ者の割合は減少し、悪化している。
- すこやか食生活推進リーダーの活動実績数は、保健センター依頼分は減少しているが、自主活動の実績数は増加している。（参考）自主活動実績 平成 27 年度：661 回、平成 28 年度：817 回
- 健康ウォーキング推進者の活動実績は増加しているが、中間目標値に達していない。

5 今後の課題

- 地域コミュニティの活性化につながる事業等の取組が健康づくりにつながることの周知を図るとともに、他部局と協働しながら地域おこしを目的とした事業を展開する必要がある。
- 健康づくりに関わる地域活動を活発化させるため、各区で開催しているウォーキング大会への参加促進やウォーキングマップの活用、自主グループの活動支援等を積極的に行い、健康・スポーツ活動への参加を高めていくような方策を検討する必要がある。
- すこやか食生活推進リーダー及び健康ウォーキング推進者による活動実績が増加するよう、育成及び活動支援を充実させていくことが必要である。
- 70 歳以上を対象とする「高齢者いきいき活動ポイント事業」により、主体的な地域活動で健康づくりが促進されることが期待できる。